

仏教タムス
2016/1/28

東京にも カフェ・デ・モンク



満席となった東京カフェ・デ・モンク（三田・龍生院）

臨床宗教師7期生

僧侶、神主でオープン

東北の被災地で生まれた傾聴喫茶「カフェ・デ・モンク」が東京にオープンした。「あなたの『文句』を聞きながら『Monkモンク（宗教者）』と一緒に『苦悶』します」という理念をそのままに、東京・三田の高野山真言宗龍生院に1月16日に「東京カフェ・

デ・モンク」として開店。昨年7月に臨床宗教師第7期を修了した井川裕寛さん（高野山真言宗、西郊良俊さん（天台宗）、池内龍太郎さん（神主）の3人が「学びを生かして何かをしたい」と意気投合し、手さぐりで始めた。場所は井川さんが勤めてい

「数名が来てくれれば」という初日だったが約20人が来店。開店すると次々に人が訪れ席は満席になるほど。僧侶の姿も多く、法華宗、立正佼成会、天理教など第7期以外の臨床宗教師や看護師なども参加した。

る龍生院の一室を借り、カフェで提供するシフォンケーキは「子どもの頃からお菓子作りが好きだった」という西郊さんが前日に作って準備。カフェの入口にある机には「傾聴」カードが置かれ、このカードを持った人には優先的に臨床宗教師が席について話を聴く。布教や宣伝目的としての活動はNGで、臨床宗教師は誓約書にサインをして臨んだ。

井川さんは奈良出身で数カ月前に上京。地元ではグリーンフケアを地域の共同体が担っていたが、東京ではグリーンフケアというサービスを作ることのできる面があるように思う。臨床宗教師も自分で名乗ることで、必要な人にも届けることができるかもしれない」と都市部ならではの在り方を模索する。池内さんは医師としても活動している。まずは入りやすい雰囲気できたかな」と手応えを話した。

カフェは隔月に1回のペースで開店する。次回は3月13日、場所は同じく龍生院（三田2-12-5）。